

札幌農学同窓会報

令和3年7月31日 発行

楡庭会が現役部員を支援

硬式庭球部OB・OGから食料など

北海道大学硬式庭球部は、北海道大学硬式庭球部の大学楡庭会（干場信司会長）1902年に発足し、今年OB・OGが集まる北海道農学・昭48年卒、元酪農

学園大学学長）は、現役部員への支援として、食料や金銭的支援を本年6月6日の全国総会で決定し、直ちに干場会長より学生へ食料や部活支援金の授与が行われました。またこの他、個別に支援を申し出頂いた方もおり、これについても干場会長より現役部員の代表に渡しました。札幌農学同窓会のような学部等組織の同窓会による学生支援に留まらず、北大は部活動組織などのいわば学生コミュニティOB・OG組織も積極的に現役学生支援を行っています。卒業生の皆様もコロナ禍による影響を受けていらっしゃると思いますが、

（2021年）で創部119年を迎えます。日本最古と言われる慶應義塾体育会庭球部発足年（1901年）の翌年には北大にも硬式庭球部が誕生しており、学生テニス界の発展に寄与して参りました。

現在、現役部員は男女合わせて56名おり、コロナ禍による活動制限のある中で体力や技術力を落とさぬよう努力を重ねています。現役部員個々の生活を支えるアルバイトが出来ない等の経済状況悪化は、現役部員の生活にも暗い影を落としています。



干場信司楡庭会会長（左）より支援目録を渡され、学生支援の話聴く現役の北大硬式庭球部部員たち（2021年6月25日、北大硬式庭球部テニスコート）

そのような中でも積極的な支援活動を行なって頂いている現状には本当に頭が下

がります。この場を借りてあらためて感謝申し上げます。

（岩淵和則、硬式庭球部長
農工・昭60卒）